

令和2年度災害医療に関する情報伝達訓練実施要領に基づく

鈴鹿亀山地域地震被害想定結果

(過去最大クラスの南海トラフ地震想定)

三重県地震被害想定結果(数表等)平成26年3月三重県防災対策部作成の資料から引用

令和2年10月

一般社団法人鈴鹿亀山薬剤師会

目 次

I 建物被害、火災被害及び人的被害に係る想定結果	1
I-1. 建物被害、火災被害	
表 I-1.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における建物被害等(総括表)	
表 I-1.2 過去最大クラスの南海トラフ地震における全壊・焼失棟数(冬夕発災)	
表 I-1.4 過去最大クラスの南海トラフ地震における出火件数	
I-2. 死傷者	
表 I-2.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における死者数	
表 I-2.2 過去最大クラスの南海トラフ地震における重傷者数	
表 I-2.3 過去最大クラスの南海トラフ地震における軽傷者数	
I-3. 建物倒壊等による自力脱出困難者	
表 I-3.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における自力脱出困難者数	
II ライフライン被害に係る想定結果	8
II-1. 上水道	
表 II-1.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における断水人口及び断水率	
II-3. 電力	
表 II-3.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における停電軒数・停電率	
II-4. 通信	
表 II-4.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における固定電話の不通回線数・不通回線率表	
表 II-4.3 過去最大クラスの南海トラフ地震における携帯電話の停波基地局率・不通ランク	
II-5. ガス	
表 II-5.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における復旧対象戸数・供給停止率	
IV 生活支障等に係る想定結果	13
IV-1. 避難者	
表 IV-1.1 過去最大クラスの軟化トラフ地震における避難者数(冬夕発災)	
IV-2. 帰宅困難者	
表 IV-2.1 南海トラフ地震による帰宅困難者数	
IV-4. 医療機能支障	
表 IV-4.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における医療対応力不足数	

I 建物被害、火災被害及び人的被害に係る想定結果

I-1. 建物被害、火災被害

1 過去最大クラスの南海トラフ地震

表 I-1.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における建物被害等(総括表)

項目	被害区分	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
地震動	全壊	約 23,000		
	半壊	約 66,000	約 66,000	約 66,000
液状化	全壊	約 5,900		
	半壊	約 18,000	約 18,000	約 18,000
津波	全壊	約 38,000		
	半壊	約 57,000	約 57,000	約 56,000
急傾斜地等	全壊	約 700		
	半壊	約 1,600	約 1,600	約 1,600
火災	焼失	約 70	約 80	約 2,100
建物棟数		912,441		
建物被害総数	全壊及び焼失	約 68,000	約 68,000	約 70,000
	半壊	約 142,000	約 142,000	約 141,000
建物被害率	全壊及び焼失	約 7%	約 7%	約 8%
	半壊	約 16%	約 16%	約 16%
ブロック塀等転倒数		約 6,200 件		
屋外落下物が発生する建物数		約 2,100 棟		

表 I-1.2 過去最大クラスの南海トラフ地震における全壊・焼失棟数(冬夕発災)

地域区分	市町名	全壊・焼失棟数					
		揺れ	液状化	津波	急傾斜地等	火災	合計
北勢	桑名市	約 500	約 1,200	約 4,900	約 10	約 10	約 6,600
	いなべ市	約 10	-	-	-	-	約 20
	木曽岬町	約 50	約 50	約 2,000	-	-	約 2,100
	東員町	約 20	約 40	-	-	-	約 50
	四日市市	約 900	約 900	約 500	約 10	約 100	約 2,400
	菰野町	約 10	-	-	-	-	約 20
	朝日町	約 30	約 50	約 10	-	-	約 90
	川越町	約 80	約 200	約 900	-	-	約 1,200
	鈴鹿市	約 400	約 100	約 100	-	約 20	約 700
	亀山市	約 40	約 10	-	-	-	約 50
	(小計)	約 2,000	約 2,500	約 8,500	約 20	約 200	約 13,000
中勢	津市	約 1,100	約 600	約 2,100	約 40	約 30	約 3,900
	松阪市	約 2,100	約 800	約 1,600	約 20	約 30	約 4,600
	多気町	約 100	-	-	約 10	-	約 100
	明和町	約 400	約 100	約 1,100	-	約 10	約 1,700
	大台町	約 200	-	-	-	-	約 200
		(小計)	約 3,900	約 1,600	約 4,800	約 80	約 70
伊賀	伊賀市	約 50	約 10	-	-	-	約 60
	名張市	約 20	-	-	-	-	約 20
		(小計)	約 60	約 10	-	約 10	約 10
伊勢志摩	伊勢市	約 5,100	約 1,200	約 5,500	約 50	約 1,700	約 14,000
	鳥羽市	約 800	約 40	約 2,000	約 90	約 10	約 2,900
	志摩市	約 4,200	約 80	約 3,800	約 90	約 60	約 8,200
	玉城町	約 300	約 10	-	-	約 10	約 400
	南伊勢町	約 1,600	約 200	約 3,600	約 100	約 20	約 5,500
	大紀町	約 300	-	約 800	約 30	-	約 1,100
	度会町	約 200	-	-	約 10	-	約 200
		(小計)	約 12,000	約 1,500	約 16,000	約 400	約 1,800
東紀州	尾鷲市	約 600	-	約 4,300	約 50	-	約 5,000
	紀北町	約 1,200	約 200	約 4,300	約 50	-	約 5,700
	熊野市	約 1,000	約 30	約 400	約 70	約 20	約 1,500
	御浜町	約 1,200	約 30	約 20	約 10	約 10	約 1,300
	紀宝町	約 800	約 20	約 10	約 20	約 10	約 900
		(小計)	約 4,800	約 300	約 9,100	約 200	約 40
県計		約 23,000	約 5,900	約 38,000	約 700	約 2,100	約 70,000

-:わずか(5未満)[以降同じ]

表 I-1.3 (参考) 既往の想定結果

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
三重県	約39,000	約10,800	約10,000	約3,400	約2,900	約66,100
内閣府	約29,700	約7,400	約3,800	約2,900	約19,800	約63,600

※三重県：平成 17 年の前回想定結果（東海・東南海・南海地震、冬 18 時発災、風速 3m/s、防潮堤等の施設をないとした場合）

※内閣府：中央防災会議東南海・南海地震等に関する専門調査会「東南海、南海地震の被害想定について」（平成 15 年 9 月 17 日）における東南海・南海地震の結果（冬 18 時発災、風速 3m/s）

表 I-1.4 過去最大クラスの南海トラフ地震における出火件数

地域区分	市町名	過去最大クラスの南海トラフ地震					
		冬・深夜		夏・昼		冬・夕	
		炎上出火件数	残出火件数	炎上出火件数	残出火件数	炎上出火件数	残出火件数
北勢	桑名市	-	-	-	-	-	-
	いなべ市	-	-	-	-	-	-
	木曽岬町	-	-	-	-	-	-
	東員町	-	-	-	-	-	-
	四日市市	-	-	-	-	-	-
	菰野町	-	-	-	-	-	-
	朝日町	-	-	-	-	-	-
	川越町	-	-	-	-	-	-
	鈴鹿市	-	-	-	-	-	-
	亀山市	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	約 10	-
中勢	津市	-	-	-	-	約 10	-
	松阪市	-	-	-	-	約 10	-
	多気町	-	-	-	-	-	-
	明和町	-	-	-	-	-	-
	大台町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	約 10	-
伊賀	伊賀市	-	-	-	-	-	-
	名張市	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
伊勢志摩	伊勢市	-	-	約 10	-	約 10	約 10
	鳥羽市	-	-	-	-	-	-
	志摩市	-	-	-	-	約 10	-
	玉城町	-	-	-	-	-	-
	南伊勢町	-	-	-	-	-	-
	大紀町	-	-	-	-	-	-
	度会町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 10	-	約 10	-	約 30	約 10
東紀州	尾鷲市	-	-	-	-	-	-
	紀北町	-	-	-	-	-	-
	熊野市	-	-	-	-	-	-
	御浜町	-	-	-	-	-	-
	紀宝町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	約 10	-
県計		約 20	-	約 20	-	約 60	約 10

I-2. 死傷者

1 過去最大クラスの南海トラフ地震

(1) 早期避難率低の場合

表 I-2.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における死者数
〔早期避難率低〕

地域区分	市町名	建物倒壊		津波			急傾斜地 崩壊等	火災	ブロック塀・自 動販売機の転 倒、屋外落下 物	合計
		(うち屋内収容 物移動・転倒、 屋内落下物)		(うち自力 脱出困難)	(うち津波 からの逃げ 遅れ)					
北勢	桑名市	約 20	-	約 500	約 10	約 500	-	-	-	約 600
	いなべ市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	木曽岬町	-	-	約 400	-	約 300	-	-	-	約 400
	東員町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	四日市市	約 40	-	約 200	約 10	約 200	-	-	-	約 200
	菰野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	朝日町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	川越町	-	-	約 90	約 10	約 90	-	-	-	約 100
	鈴鹿市	約 20	-	約 100	-	約 100	-	-	-	約 200
	亀山市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 80	約 10	約 1,300	約 40	約 1,300	-	-	-	約 1,400
中勢	津市	約 50	約 10	約 1,300	約 30	約 1,300	-	-	-	約 1,400
	松阪市	約 100	約 10	約 1,000	約 30	約 1,000	-	-	-	約 1,100
	多気町	約 10	-	-	-	-	-	-	-	約 10
	明和町	約 20	-	約 600	約 10	約 600	-	-	-	約 700
	大台町	約 10	-	-	-	-	-	-	-	約 10
		(小計)	約 200	約 20	約 3,000	約 70	約 2,900	約 10	-	-
伊賀	伊賀市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	名張市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		(小計)	-	-	-	-	-	-	-	-
伊勢志摩	伊勢市	約 300	約 10	約 3,200	約 300	約 2,900	-	-	-	約 3,500
	鳥羽市	約 50	-	約 800	約 30	約 800	約 10	-	-	約 900
	志摩市	約 300	約 10	約 3,900	約 100	約 3,800	約 10	-	-	約 4,200
	玉城町	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	南伊勢町	約 100	-	約 4,700	約 60	約 4,600	約 10	-	-	約 4,800
	大紀町	約 20	-	約 1,300	-	約 1,300	-	-	-	約 1,300
	度会町	約 10	-	-	-	-	-	-	-	約 10
		(小計)	約 700	約 30	約 14,000	約 500	約 13,000	約 30	-	-
東紀州	尾鷲市	約 40	-	約 5,600	約 20	約 5,600	-	-	-	約 5,700
	紀北町	約 70	-	約 7,800	約 70	約 7,800	約 10	-	-	約 7,900
	熊野市	約 70	-	約 400	-	約 400	約 10	-	-	約 500
	御浜町	約 80	-	約 20	-	約 20	-	-	-	約 100
	紀宝町	約 60	-	約 40	-	約 40	-	-	-	約 100
		(小計)	約 300	約 10	約 14,000	約 100	約 14,000	約 20	-	-
県計		約 1,400	約 70	約 32,000	約 700	約 31,000	約 60	-	-	約 34,000

冬深夜発災ケース

表 I-2.2 過去最大クラスの南海トラフ地震における重傷者数
〔早期避難率低〕

地域区分	市町名	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
			(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
北勢	桑名市	約 50	約 10	-	-	-	-	約 50
	いなべ市	-	-	-	-	-	-	-
	木曽岬町	約 10	-	-	-	-	-	約 10
	東員町	-	-	-	-	-	-	-
	四日市市	約 100	約 30	約 20	-	-	-	約 100
	菰野町	-	-	-	-	-	-	-
	朝日町	-	-	-	-	-	-	-
	川越町	約 10	-	-	-	-	-	約 10
	鈴鹿市	約 40	約 20	約 10	-	-	-	約 60
	亀山市	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 200	約 70	約 40	-	-	-	約 300
中勢	津市	約 100	約 40	約 30	-	-	-	約 100
	松阪市	約 200	約 40	約 10	-	-	-	約 200
	多気町	約 10	-	-	-	-	-	約 10
	明和町	約 40	約 10	約 10	-	-	-	約 50
	大台町	約 20	-	-	-	-	-	約 20
	(小計)	約 400	約 80	約 50	-	-	-	約 500
伊賀	伊賀市	-	-	-	-	-	-	-
	名張市	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 10	-	-	-	-	-	約 10
伊勢志摩	伊勢市	約 500	約 60	約 40	-	-	-	約 600
	鳥羽市	約 80	約 10	約 20	-	-	-	約 100
	志摩市	約 400	約 40	約 70	-	-	-	約 500
	玉城町	約 30	-	-	-	-	-	約 30
	南伊勢町	約 200	約 10	約 30	約 10	-	-	約 200
	大紀町	約 30	-	-	-	-	-	約 30
	度会町	約 20	-	-	-	-	-	約 20
	(小計)	約 1,300	約 100	約 200	約 20	-	-	約 1,400
東紀州	尾鷲市	約 60	-	約 60	-	-	-	約 100
	紀北町	約 100	約 10	約 80	-	-	-	約 200
	熊野市	約 100	約 10	約 10	-	-	-	約 100
	御浜町	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
	紀宝町	約 60	約 10	約 10	-	-	-	約 80
	(小計)	約 400	約 40	約 200	約 10	-	-	約 600
県計	約 2,300	約 300	約 400	約 40	-	-	約 2,800	

冬深夜発災ケース

表 I-2.3 過去最大クラスの南海トラフ地震における軽傷者数
〔早期避難率低〕

地域区分	市町名	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
			(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
北勢	桑名市	約 500	約 60	-	-	-	-	約 500
	いなべ市	約 30	約 10	-	-	-	-	約 30
	木曽岬町	約 50	-	-	-	-	-	約 50
	東員町	約 30	約 10	-	-	-	-	約 30
	四日市市	約 1,100	約 100	約 50	-	-	-	約 1,100
	菰野町	約 40	約 10	-	-	-	-	約 40
	朝日町	約 40	-	-	-	-	-	約 40
	川越町	約 80	約 10	-	-	-	-	約 90
	鈴鹿市	約 700	約 90	約 30	-	-	-	約 700
	亀山市	約 90	約 20	-	-	-	-	約 90
	(小計)	約 2,700	約 400	約 80	-	-	-	約 2,700
中勢	津市	約 1,400	約 200	約 60	-	-	-	約 1,500
	松阪市	約 1,800	約 100	約 20	-	-	-	約 1,800
	多気町	約 200	約 10	-	-	-	-	約 200
	明和町	約 400	約 20	約 20	-	-	-	約 400
	大台町	約 200	約 10	-	-	-	-	約 200
	(小計)	約 3,900	約 300	約 100	-	-	-	約 4,000
伊賀	伊賀市	約 90	約 20	-	-	-	-	約 90
	名張市	約 40	約 20	-	-	-	-	約 40
	(小計)	約 100	約 40	-	-	-	-	約 100
伊勢志摩	伊勢市	約 2,300	約 200	約 80	-	-	-	約 2,400
	鳥羽市	約 400	約 30	約 30	-	-	-	約 400
	志摩市	約 1,700	約 100	約 100	-	-	-	約 1,800
	玉城町	約 200	約 20	-	-	-	-	約 200
	南伊勢町	約 600	約 40	約 50	約 10	-	-	約 700
	大紀町	約 200	約 10	約 10	-	-	-	約 200
	度会町	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
	(小計)	約 5,600	約 500	約 300	約 20	-	-	約 5,900
東紀州	尾鷲市	約 500	約 20	約 100	-	-	-	約 600
	紀北町	約 600	約 40	約 200	-	-	-	約 800
	熊野市	約 600	約 30	約 20	-	-	-	約 600
	御浜町	約 300	約 30	-	-	-	-	約 300
	紀宝町	約 300	約 30	約 30	-	-	-	約 300
	(小計)	約 2,300	約 100	約 300	約 10	-	-	約 2,600
県計	約 15,000	約 1,400	約 800	約 40	-	-	約 15,000	

冬深夜発災ケース

表 I-2.4 (参考) 既往の被害想定における死者数

	建物被害	急傾斜地崩壊	火災	津波	合計
三重県	約 1,700			約 3,100	約 4,800
内閣府	約 1,300	約 300	約 20	約 1,000	約 2,600

※三重県：平成 17 年の前回想定結果（東海・東南海・南海地震、冬夕発災、風速 3m/s、防潮堤等の施設をないとした場合）

※内閣府：中央防災会議東南海・南海地震等に関する専門調査会「東南海、南海地震の被害想定について」（平成 15 年 9 月 17 日）における東南海・南海地震の結果（冬 5 時発災、風速 3m/s）

I-3. 建物倒壊等による自力脱出困難者

表 I-3.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における自力脱出困難者数

地域区分	市町名	自力脱出困難者数		
		深夜	昼	夕
北勢	桑名市	約 100	約 200	約 100
	いなべ市	-	約 10	-
	木曾岬町	約 10	約 10	約 10
	東員町	-	約 10	-
	四日市市	約 300	約 300	約 300
	菰野町	-	約 10	-
	朝日町	約 10	約 10	約 10
	川越町	約 20	約 30	約 20
	鈴鹿市	約 100	約 100	約 100
	亀山市	約 10	約 20	約 10
	(小計)	約 600	約 700	約 600
	中勢	津市	約 300	約 400
松阪市		約 500	約 400	約 400
多気町		約 20	約 20	約 20
明和町		約 80	約 50	約 60
大台町		約 30	約 20	約 20
(小計)		約 900	約 900	約 900
伊賀		伊賀市	約 10	約 20
	名張市	-	約 10	約 10
	(小計)	約 10	約 30	約 20
伊勢志摩	伊勢市	約 1,200	約 900	約 1,100
	鳥羽市	約 100	約 90	約 100
	志摩市	約 700	約 300	約 500
	玉城町	約 80	約 60	約 70
	南伊勢町	約 200	約 100	約 200
	大紀町	約 40	約 30	約 30
	度会町	約 40	約 20	約 30
	(小計)	約 2,500	約 1,600	約 2,000
	東紀州	尾鷲市	約 90	約 60
紀北町		約 200	約 100	約 200
熊野市		約 100	約 90	約 100
御浜町		約 200	約 90	約 100
紀宝町		約 100	約 60	約 90
(小計)		約 700	約 400	約 600
県計		約 4,700	約 3,700	約 4,100

II ライフライン被害に係る想定結果

II-1. 上水道

表 II-1.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における断水人口及び断水率

地域区分	市町名	給水人口	断水率(%)				断水人口(人)			
			直後	1日後	7日後	1ヶ月後	直後	1日後	7日後	1ヶ月後
北勢	桑名市	約 142,000	100%	99%	77%	31%	約 142,000	約 140,000	約 110,000	約 44,000
	いなべ市	約 47,000	92%	93%	47%	15%	約 43,000	約 44,000	約 22,000	約 7,100
	木曽岬町	約 6,800	100%	100%	100%	89%	約 6,800	約 6,800	約 6,800	約 6,100
	東員町	約 26,000	97%	96%	58%	0%	約 25,000	約 25,000	約 15,000	-
	四日市市	約 314,000	100%	98%	71%	5%	約 313,000	約 307,000	約 221,000	約 17,000
	菟野町	約 41,000	94%	91%	45%	0%	約 38,000	約 37,000	約 18,000	-
	朝日町	約 9,900	100%	99%	98%	86%	約 9,900	約 9,800	約 9,700	約 8,500
	川越町	約 14,000	100%	99%	99%	87%	約 14,000	約 14,000	約 14,000	約 13,000
	鈴鹿市	約 202,000	100%	97%	64%	0%	約 201,000	約 197,000	約 130,000	-
亀山市	約 50,000	92%	89%	45%	0%	約 46,000	約 44,000	約 23,000	-	
(小計)	約 852,000	98%	97%	67%	11%	約 839,000	約 825,000	約 570,000	約 95,000	
中勢	津市	約 286,000	100%	97%	70%	11%	約 285,000	約 277,000	約 200,000	約 31,000
	松阪市	約 168,000	100%	99%	82%	47%	約 168,000	約 166,000	約 139,000	約 80,000
	多気町	約 15,000	98%	91%	58%	11%	約 15,000	約 14,000	約 8,800	約 1,700
	明和町	約 23,000	100%	100%	94%	79%	約 23,000	約 23,000	約 22,000	約 19,000
	大台町	約 10,000	99%	96%	59%	17%	約 10,000	約 10,000	約 6,100	約 1,700
(小計)	約 503,000	100%	97%	75%	26%	約 501,000	約 490,000	約 376,000	約 133,000	
伊賀	伊賀市	約 98,000	87%	61%	34%	0%	約 84,000	約 60,000	約 33,000	-
	名張市	約 82,000	49%	85%	15%	0%	約 40,000	約 70,000	約 13,000	-
	(小計)	約 180,000	69%	72%	25%	0%	約 125,000	約 130,000	約 45,000	-
伊勢志摩	伊勢市	約 132,000	100%	99%	98%	83%	約 132,000	約 131,000	約 129,000	約 110,000
	鳥羽市	約 22,000	97%	83%	80%	18%	約 21,000	約 18,000	約 17,000	約 3,900
	志摩市	約 56,000	100%	96%	96%	80%	約 56,000	約 54,000	約 54,000	約 45,000
	玉城町	約 16,000	100%	99%	73%	35%	約 15,000	約 15,000	約 11,000	約 5,500
	南伊勢町	約 16,000	100%	100%	85%	62%	約 16,000	約 15,000	約 13,000	約 9,600
	大紀町	約 10,000	100%	98%	66%	30%	約 10,000	約 9,900	約 6,700	約 3,000
	度会町	約 8,900	100%	99%	69%	28%	約 8,900	約 8,800	約 6,100	約 2,500
(小計)	約 260,000	100%	97%	91%	69%	約 259,000	約 252,000	約 237,000	約 179,000	
東紀州	尾鷲市	約 21,000	99%	99%	68%	15%	約 20,000	約 20,000	約 14,000	約 3,000
	紀北町	約 19,000	100%	100%	95%	85%	約 19,000	約 19,000	約 18,000	約 16,000
	熊野市	約 19,000	100%	99%	75%	21%	約 19,000	約 18,000	約 14,000	約 3,900
	御浜町	約 9,100	100%	99%	90%	70%	約 9,100	約 9,100	約 8,300	約 6,400
	紀宝町	約 11,000	100%	99%	77%	43%	約 11,000	約 11,000	約 8,700	約 4,800
(小計)	約 78,000	100%	99%	80%	44%	約 78,000	約 78,000	約 63,000	約 34,000	
県計	約 1,872,000	96%	95%	69%	24%	約 1,802,000	約 1,774,000	約 1,291,000	約 441,000	

※給水人口は平成 24 年 3 月 31 日時点

※ 津波により被災した需要家を復旧対象から除外すると、95%の応急復旧が見込まれるのは2ヶ月以上と想定される。

II-3. 電力

表 II-3.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における停電軒数・停電率

地域区分	市町名	需要家数	直後		1日後		1週間後	
			停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率
北勢	桑名市	約 82,000	約 74,000	90%	約 67,000	82%	約 8,200	10%
	いなべ市	約 28,000	約 25,000	89%	約 23,000	80%	-	0%
	木曽岬町	約 5,900	約 5,600	94%	約 5,300	89%	約 2,600	43%
	東員町	約 14,000	約 12,000	89%	約 11,000	80%	-	0%
	四日市市	約 191,000	約 170,000	89%	約 154,000	81%	約 1,200	1%
	菰野町	約 24,000	約 21,000	89%	約 19,000	80%	-	0%
	朝日町	約 5,700	約 5,100	89%	約 4,600	80%	約 20	0%
	川越町	約 8,700	約 7,900	91%	約 7,300	84%	約 1,400	17%
	鈴鹿市	約 114,000	約 101,000	89%	約 92,000	80%	約 100	0%
	亀山市	約 31,000	約 27,000	89%	約 25,000	80%	-	0%
	(小計)	約 503,000	約 448,000	89%	約 407,000	81%	約 14,000	3%
中勢	津市	約 186,000	約 166,000	89%	約 151,000	81%	約 5,100	3%
	松阪市	約 108,000	約 96,000	89%	約 87,000	81%	約 1,800	2%
	多気町	約 10,000	約 9,000	89%	約 8,100	80%	-	0%
	明和町	約 15,000	約 13,000	90%	約 12,000	82%	約 1,300	9%
	大台町	約 8,000	約 7,100	89%	約 6,400	80%	-	0%
	(小計)	約 327,000	約 291,000	89%	約 265,000	81%	約 8,200	3%
伊賀	伊賀市	約 66,000	約 59,000	89%	約 53,000	80%	-	0%
	名張市	約 48,000	約 43,000	89%	約 39,000	80%	-	0%
	(小計)	約 115,000	約 102,000	89%	約 92,000	80%	-	0%
伊勢志摩	伊勢市	約 84,000	約 75,000	90%	約 69,000	82%	約 8,300	10%
	鳥羽市	約 17,000	約 15,000	91%	約 14,000	84%	約 3,100	18%
	志摩市	約 42,000	約 38,000	90%	約 35,000	83%	約 4,900	12%
	玉城町	約 9,400	約 8,300	89%	約 7,500	80%	-	0%
	南伊勢町	約 14,000	約 13,000	93%	約 12,000	88%	約 5,200	37%
	大紀町	約 8,500	約 7,700	90%	約 7,000	83%	約 1,000	12%
	度会町	約 5,300	約 4,700	89%	約 4,300	80%	-	0%
	(小計)	約 179,000	約 162,000	90%	約 149,000	83%	約 22,000	13%
東紀州	尾鷲市	約 16,000	約 15,000	92%	約 14,000	86%	約 5,000	31%
	紀北町	約 15,000	約 14,000	93%	約 13,000	88%	約 5,700	38%
	熊野市	約 22,000	約 20,000	89%	約 18,000	81%	約 600	3%
	御浜町	約 9,900	約 8,800	89%	約 8,000	80%	約 40	0%
	紀宝町	約 19,000	約 17,000	89%	約 15,000	80%	約 10	0%
	(小計)	約 82,000	約 74,000	90%	約 68,000	83%	約 11,000	14%
県計		約 1,206,000	約 1,077,000	89%	約 981,000	81%	約 56,000	5%

※ 津波により被災した需要家を復旧対象から除外すると、1週間程度で概ね95%の応急復旧が見込まれる。

II-4. 通信

表 II-4.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における固定電話の不通回線数・不通回線率

地域区分	市町名	回線数	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後	
			不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率
北勢	桑名市	約 26,000	約 23,000	90%	約 21,000	83%	約 2,900	11%	約 2,900	11%
	いなべ市	約 11,000	約 9,700	89%	約 8,800	80%	-	0%	-	0%
	木曽岬町	約 1,600	約 1,500	94%	約 1,400	89%	約 700	43%	約 700	43%
	東員町	約 4,700	約 4,200	89%	約 3,800	80%	-	0%	-	0%
	四日市市	約 63,000	約 56,000	89%	約 51,000	81%	約 2,200	3%	約 2,100	3%
	菟野町	約 7,800	約 7,000	89%	約 6,300	80%	-	0%	-	0%
	朝日町	約 1,700	約 1,500	89%	約 1,300	81%	約 50	3%	約 50	3%
	川越町	約 1,900	約 1,700	92%	約 1,600	86%	約 600	31%	約 600	31%
	鈴鹿市	約 39,000	約 35,000	89%	約 31,000	81%	約 400	1%	約 400	1%
	亀山市	約 9,900	約 8,800	89%	約 8,000	80%	-	0%	-	0%
(小計)	約 167,000	約 149,000	89%	約 135,000	81%	約 6,800	4%	約 6,600	4%	
中勢	津市	約 64,000	約 57,000	89%	約 52,000	81%	約 2,400	4%	約 2,300	4%
	松阪市	約 40,000	約 36,000	89%	約 33,000	81%	約 1,700	4%	約 1,600	4%
	多気町	約 4,100	約 3,700	89%	約 3,300	80%	-	0%	-	0%
	明和町	約 5,500	約 4,900	90%	約 4,500	83%	約 700	12%	約 700	12%
	大台町	約 3,900	約 3,400	89%	約 3,100	81%	-	0%	-	0%
	(小計)	約 118,000	約 105,000	89%	約 96,000	81%	約 4,800	4%	約 4,600	4%
伊賀	伊賀市	約 24,000	約 21,000	89%	約 19,000	80%	-	0%	-	0%
	名張市	約 18,000	約 16,000	89%	約 15,000	80%	-	0%	-	0%
	(小計)	約 42,000	約 37,000	89%	約 34,000	80%	-	0%	-	0%
伊勢志摩	伊勢市	約 36,000	約 33,000	91%	約 30,000	84%	約 6,700	19%	約 5,900	16%
	鳥羽市	約 7,700	約 7,100	92%	約 6,600	86%	約 2,200	28%	約 2,100	28%
	志摩市	約 22,000	約 20,000	91%	約 19,000	84%	約 4,400	20%	約 4,200	19%
	玉城町	約 3,600	約 3,200	89%	約 2,900	81%	-	0%	-	0%
	南伊勢町	約 6,500	約 6,100	94%	約 5,800	89%	約 3,000	46%	約 2,900	44%
	大紀町	約 3,200	約 2,900	91%	約 2,600	84%	約 500	16%	約 500	16%
	度会町	約 2,700	約 2,400	89%	約 2,200	81%	-	0%	-	0%
	(小計)	約 82,000	約 75,000	91%	約 69,000	85%	約 17,000	20%	約 16,000	19%
東紀州	尾鷲市	約 8,700	約 8,200	93%	約 7,700	89%	約 3,600	41%	約 3,600	41%
	紀北町	約 6,700	約 6,300	95%	約 6,100	90%	約 3,400	51%	約 3,400	50%
	熊野市	約 7,900	約 7,100	90%	約 6,500	82%	約 800	9%	約 700	9%
	御浜町	約 3,400	約 3,000	90%	約 2,800	82%	約 200	5%	約 200	5%
	紀宝町	約 3,200	約 2,800	89%	約 2,600	81%	約 20	0%	約 20	0%
(小計)	約 30,000	約 27,000	92%	約 26,000	86%	約 7,900	27%	約 7,800	26%	
県計	約 438,000	約 393,000	90%	約 360,000	82%	約 36,000	8%	約 35,000	8%	

(注) 不通回線数および不通回線率には、停電による不通と物理的被害による不通を含む。

※ 津波により被災した需要家を復旧対象から除外すると、95%の応急復旧が見込まれるのは5週間程度と想定される。

表 II-4.3 過去最大クラスの南海トラフ地震における携帯電話の停波基地局率・不通ランク

地域区分	市町名	直後		1日後		1週間後	
		停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク
北勢	桑名市	1%	-	83%	A	11%	-
	いなべ市	0%	-	80%	A	0%	-
	木曽岬町	0%	-	89%	A	43%	B
	東員町	0%	-	80%	A	0%	-
	四日市市	3%	-	81%	A	3%	-
	菰野町	0%	-	80%	A	0%	-
	朝日町	3%	-	81%	A	3%	-
	川越町	17%	-	86%	A	31%	-
	鈴鹿市	1%	-	81%	A	1%	-
	亀山市	0%	-	80%	A	0%	-
中勢	津市	1%	-	81%	A	4%	-
	松阪市	3%	-	81%	A	4%	-
	多気町	0%	-	80%	A	0%	-
	明和町	4%	-	83%	A	12%	-
	大台町	1%	-	81%	A	0%	-
伊賀	伊賀市	0%	-	80%	A	0%	-
	名張市	0%	-	80%	A	0%	-
伊勢志摩	伊勢市	10%	-	84%	A	19%	-
	鳥羽市	12%	-	86%	A	28%	-
	志摩市	10%	-	84%	A	20%	-
	玉城町	1%	-	81%	A	0%	-
	南伊勢町	14%	-	89%	A	46%	C
	大紀町	5%	-	84%	A	16%	-
	度会町	1%	-	81%	A	0%	-
東紀州	尾鷲市	15%	-	89%	A	41%	C
	紀北町	20%	-	90%	A	51%	C
	熊野市	7%	-	82%	A	9%	-
	御浜町	7%	-	82%	A	5%	-
	紀宝町	3%	-	81%	A	0%	-

(注) 停波基地局率には、停電による停波と物理的被害による固定電話の不通を含む。

<携帯電話の不通ランク>

ランク A: 停電による停波基地局率と物理的被害に基づく固定電話不通回線率の少なくとも一方が 50% を超える。

ランク B: 停電による停波基地局率と物理的被害に基づく固定電話不通回線率の少なくとも一方が 40% を超える。

ランク C: 停電による停波基地局率と物理的被害に基づく固定電話不通回線率の少なくとも一方が 30% を超える。

— : 上記ランク A,B,C のいずれにも該当しない。

※ 津波により被災した需要家を復旧対象から除外すると、1週間程度で概ね 95% の応急復旧が見込まれる。

II-5. ガス

表 II-5.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における復旧対象戸数・供給停止率

地域区分	市町名	需要家数 (戸)	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後	
			復旧対象 戸数 (戸)	供給 停止率 (%)	復旧対象 戸数 (戸)	供給 停止率 (%)	復旧対象 戸数 (戸)	供給 停止率 (%)	復旧対象 戸数 (戸)	供給 停止率 (%)
北勢	桑名市	約17,000	-	-	-	-	-	-	-	-
	いなべ市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	木曽岬町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東員町	約4,200	-	-	-	-	-	-	-	-
	四日市市	約47,000	-	-	-	-	-	-	-	-
	菰野町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	朝日町	約1,900	-	-	-	-	-	-	-	-
	川越町	約400	-	-	-	-	-	-	-	-
	鈴鹿市	約4,800	-	-	-	-	-	-	-	-
	亀山市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(小計)	約75,000	-	-	-	-	-	-	-	-	
中勢	津市	約38,000	-	-	-	-	-	-	-	-
	松阪市	約14,000	-	-	-	-	-	-	-	-
	多気町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	明和町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	大台町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	(小計)	約52,000	-	-	-	-	-	-	-	-
伊賀	伊賀市	約10,000	-	-	-	-	-	-	-	-
	名張市	約15,000	-	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約25,000	-	-	-	-	-	-	-	-
伊勢志摩	伊勢市	約15,000	約6,500	43%	約6,500	43%	約5,000	33%	-	-
	鳥羽市	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	志摩市	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	玉城町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	南伊勢町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	大紀町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	度会町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	(小計)	約15,000	約6,500	43%	約6,500	43%	約5,000	33%	-	-
東紀州	尾鷲市	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	紀北町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	熊野市	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	御浜町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	紀宝町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	(小計)	/	/	/	/	/	/	/	/	/
県計	約167,000	約6,500	4%	約6,500	4%	約5,000	3%	-	-	

(注1)-:わずか

(注2)/:都市ガス供給区域外地域

※ 復旧対象戸数は、全供給停止戸数のうち家屋被害の著しい需要家分を除いたもの

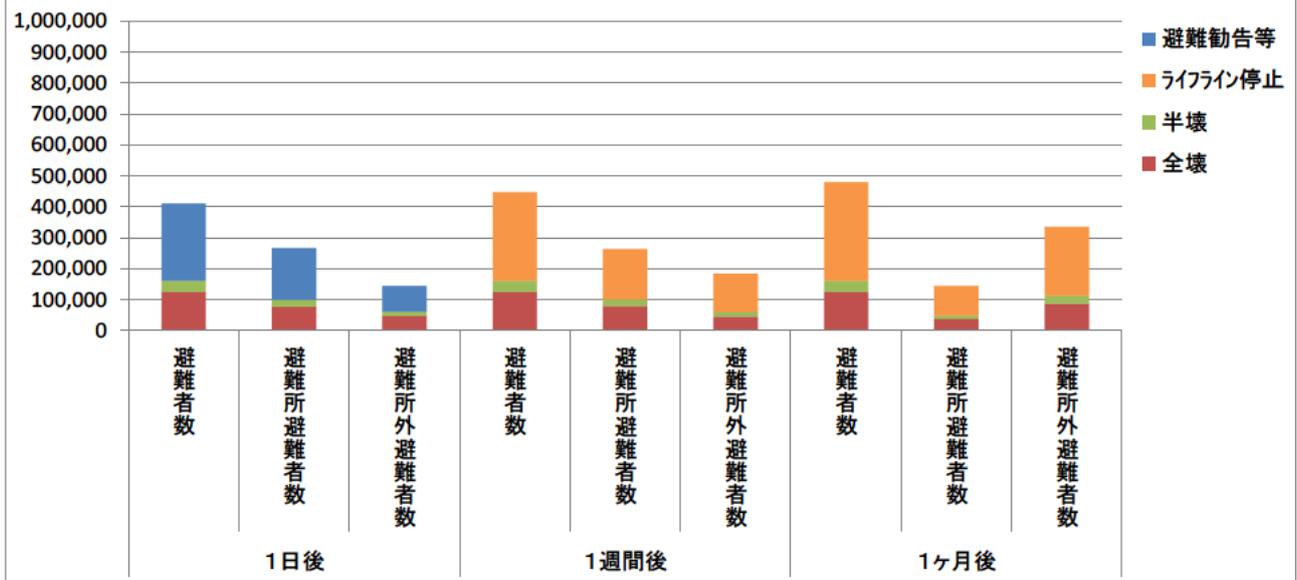
※ 概ね供給を継続する。ただし、被害を受けている需要家に限定すれば、復旧に4週間程度かかる可能性がある。

IV 生活支障等に係る想定結果

IV-1. 避難者

表 IV-1.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における避難者数(冬夕発災)

地域区分	市町名	1日後			1週間後			1ヶ月後		
		避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外
北勢	桑名市	約 57,000	約 37,000	約 20,000	約 42,000	約 26,000	約 15,000	約 52,000	約 16,000	約 36,000
	いなべ市	約 70	約 40	約 30	約 5,400	約 2,700	約 2,700	約 6,400	約 1,900	約 4,500
	木曾岬町	約 6,600	約 4,400	約 2,200	約 5,100	約 4,400	約 700	約 6,400	約 1,900	約 4,500
	東員町	約 200	約 100	約 70	約 3,900	約 1,900	約 1,900	約 200	約 50	約 100
	四日市市	約 39,000	約 26,000	約 14,000	約 63,000	約 34,000	約 29,000	約 24,000	約 7,300	約 17,000
	菟野町	約 90	約 60	約 40	約 4,600	約 2,300	約 2,300	約 90	約 30	約 70
	朝日町	約 800	約 500	約 300	約 2,600	約 1,400	約 1,200	約 7,500	約 2,300	約 5,300
	川越町	約 12,000	約 8,000	約 4,100	約 6,400	約 5,200	約 1,100	約 12,000	約 3,600	約 8,300
	鈴鹿市	約 18,000	約 12,000	約 6,300	約 35,000	約 19,000	約 17,000	約 3,900	約 1,200	約 2,700
	亀山市	約 300	約 200	約 100	約 6,000	約 3,000	約 3,000	約 300	約 80	約 200
(小計)	約 135,000	約 88,000	約 47,000	約 174,000	約 100,000	約 74,000	約 113,000	約 34,000	約 79,000	
中勢	津市	約 80,000	約 53,000	約 28,000	約 64,000	約 38,000	約 26,000	約 43,000	約 13,000	約 30,000
	松阪市	約 32,000	約 20,000	約 11,000	約 45,000	約 25,000	約 20,000	約 79,000	約 24,000	約 55,000
	多気町	約 400	約 300	約 200	約 2,600	約 1,300	約 1,300	約 1,900	約 600	約 1,400
	明和町	約 7,300	約 4,700	約 2,600	約 8,000	約 4,600	約 3,300	約 17,000	約 5,200	約 12,000
	大台町	約 500	約 300	約 200	約 1,900	約 1,000	約 1,000	約 2,000	約 600	約 1,400
(小計)	約 120,000	約 78,000	約 42,000	約 121,000	約 69,000	約 52,000	約 143,000	約 43,000	約 100,000	
伊賀	伊賀市	約 300	約 200	約 100	約 8,400	約 4,200	約 4,200	約 300	約 90	約 200
	名張市	約 100	約 80	約 50	約 3,200	約 1,600	約 1,600	約 100	約 40	約 90
	(小計)	約 400	約 300	約 200	約 12,000	約 5,800	約 5,800	約 400	約 100	約 300
伊勢志摩	伊勢市	約 73,000	約 48,000	約 26,000	約 58,000	約 38,000	約 19,000	約 106,000	約 32,000	約 74,000
	鳥羽市	約 10,000	約 6,400	約 3,600	約 8,500	約 5,200	約 3,200	約 7,800	約 2,400	約 5,500
	志摩市	約 23,000	約 15,000	約 8,400	約 24,000	約 14,000	約 9,600	約 43,000	約 13,000	約 30,000
	玉城町	約 1,100	約 600	約 400	約 3,700	約 1,800	約 1,800	約 5,600	約 1,700	約 3,900
	南伊勢町	約 11,000	約 7,000	約 3,900	約 8,900	約 6,200	約 2,700	約 11,000	約 3,400	約 8,000
	大紀町	約 3,200	約 2,000	約 1,200	約 3,200	約 1,800	約 1,400	約 4,000	約 1,200	約 2,800
	度会町	約 500	約 300	約 200	約 1,900	約 1,000	約 1,000	約 2,600	約 800	約 1,800
	(小計)	約 122,000	約 79,000	約 43,000	約 107,000	約 68,000	約 39,000	約 181,000	約 54,000	約 127,000
東紀州	尾鷲市	約 13,000	約 8,100	約 4,500	約 9,500	約 6,300	約 3,200	約 9,100	約 2,700	約 6,300
	紀北町	約 15,000	約 9,400	約 5,100	約 11,000	約 8,300	約 3,100	約 16,000	約 4,900	約 11,000
	熊野市	約 3,200	約 2,000	約 1,200	約 5,700	約 2,900	約 2,700	約 5,700	約 1,700	約 4,000
	御浜町	約 1,800	約 1,100	約 700	約 3,400	約 1,700	約 1,700	約 6,500	約 2,000	約 4,600
	紀宝町	約 1,500	約 900	約 600	約 3,400	約 1,700	約 1,700	約 5,400	約 1,600	約 3,800
(小計)	約 34,000	約 22,000	約 12,000	約 33,000	約 21,000	約 12,000	約 43,000	約 13,000	約 30,000	
県計	約 411,000	約 267,000	約 144,000	約 447,000	約 264,000	約 183,000	約 480,000	約 144,000	約 336,000	



IV-2. 帰宅困難者

1 帰宅困難者

表 IV-2.1 南海トラフ地震による帰宅困難者数

地域区分	市町名	市町外からの 流入者数	流入最大市町			流入者数			帰宅困難者数	
			市町名	人数	比率	隣市町	隣市町以外	隣市町比率	市町別	地域区分別
北勢	桑名市	約22,000人	四日市市	約5,200人	24%	約14,000人	約7,700人	64%	約13,000人	約81,000人
	いなべ市	約13,000人	桑名市	約3,500人	28%	約10,000人	約2,600人	80%	約6,900人	
	木曽岬町	約1,800人	桑名市	約570人	32%	約570人	約1,200人	32%	約1,200人	
	東員町	約4,700人	桑名市	約1,700人	36%	約4,000人	約760人	84%	約2,600人	
	四日市市	約51,000人	鈴鹿市	約16,000人	30%	約36,000人	約15,000人	71%	約29,000人	
	菟野町	約5,800人	四日市市	約3,800人	65%	約4,400人	約1,400人	76%	約3,300人	
	朝日町	約3,000人	四日市市	約1,100人	35%	約2,300人	約720人	76%	約1,700人	
	川越町	約5,300人	四日市市	約2,400人	45%	約3,900人	約1,400人	74%	約3,000人	
	鈴鹿市	約25,000人	津市	約7,800人	32%	約20,000人	約4,400人	82%	約13,000人	
亀山市	約12,000人	鈴鹿市	約5,500人	46%	約8,900人	約2,900人	75%	約6,600人		
中勢	津市	約39,000人	松阪市	約14,000人	35%	約25,000人	約13,000人	65%	約23,000人	約41,000人
	松阪市	約21,000人	津市	約6,100人	29%	約12,000人	約8,900人	57%	約13,000人	
	多気町	約5,300人	松阪市	約2,800人	53%	約3,900人	約1,400人	74%	約3,000人	
	明和町	約4,400人	伊勢市	約1,800人	41%	約3,700人	約670人	85%	約2,400人	
伊賀	大台町	約1,400人	大紀町	約460人	32%	約1,100人	約300人	79%	約780人	約12,000人
	伊賀市	約13,000人	名張市	約7,800人	59%	約8,900人	約4,400人	67%	約7,700人	
伊勢志摩	名張市	約6,400人	伊賀市	約3,400人	53%	約4,000人	約2,400人	63%	約3,800人	約17,000人
	伊勢市	約17,000人	志摩市	約2,700人	16%	約11,000人	約5,700人	67%	約10,000人	
	鳥羽市	約3,800人	伊勢市	約1,800人	47%	約3,200人	約660人	83%	約2,100人	
	志摩市	約1,900人	伊勢市	約710人	36%	約1,600人	約380人	80%	約1,100人	
	玉城町	約4,700人	伊勢市	約2,200人	47%	約3,200人	約1,500人	69%	約2,700人	
	南伊勢町	約850人	志摩市	約270人	31%	約640人	約220人	75%	約480人	
	大紀町	約1,000人	大台町	約260人	26%	約590人	約430人	58%	約620人	
東紀州	度会町	約900人	伊勢市	約470人	53%	約750人	約150人	83%	約490人	約4,700人
	尾鷲市	約1,900人	紀北町	約1,300人	70%	約1,500人	約350人	82%	約1,000人	
	紀北町	約1,400人	尾鷲市	約890人	65%	約1,100人	約230人	83%	約740人	
	熊野市	約2,500人	御浜町	約1,100人	45%	約1,900人	約590人	76%	約1,400人	
	御浜町	約1,500人	熊野市	約650人	44%	約1,200人	約280人	81%	約810人	
紀宝町	約1,100人	御浜町	約310人	27%	約520人	約620人	45%	約720人		
県計	約271,000人		約96,000人	35%	約191,000人	約80,000人	70%	約156,000人	約156,000人	

※人口流動は平成22年国勢調査による。

IV-4. 医療機能支障

1 医療対応力不足数

表 IV-4.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における医療対応力不足数
(冬深夜発災ケース)

二次医療圏	市町名	対応可能 入院患者数	要転院 患者数	重傷者数 +病院死者数	対応可能 外来患者数	軽傷者数	医療対応力不足数	
							入院対応	外来対応
北勢	四日市市	約500	約100	約100	約4,800	約1,100	-	-
	桑名市	約200	約90	約100	約1,400	約500	約20	-
	鈴鹿市	約300	約60	約70	約2,700	約700	-	-
	亀山市	約40	約10	-	約300	約90	-	-
	いなべ市	約80	約10	-	約700	約30	-	-
	木曾岬町	-	-	約40	約10	約50	約40	約40
	東員町	-	-	-	約200	約30	-	-
	菰野町	約40	約20	-	約300	約40	-	-
	朝日町	-	-	-	約30	約40	-	約10
	川越町	-	約10	約20	約20	約90	約30	約70
	(小計)	約1,100	約300	約400	約10,000	約2,700	約90	約100
中勢伊賀	津市	約600	約200	約300	約4,000	約1,500	-	-
	名張市	約80	約10	-	約400	約40	-	-
	伊賀市	約200	約40	-	約600	約90	-	-
	(小計)	約800	約300	約300	約5,000	約1,600	-	-
南勢志摩	伊勢市	約300	約90	約900	約1,900	約2,400	約700	約600
	松阪市	約400	約50	約300	約2,800	約1,800	約30	-
	鳥羽市	-	-	約200	約70	約400	約200	約400
	志摩市	約70	約20	約900	約400	約1,800	約900	約1,400
	多気町	-	-	約10	約40	約200	約10	約100
	明和町	約20	約20	約100	約100	約400	約100	約300
	大台町	約10	約10	約20	約80	約200	約20	約100
	玉城町	約10	約10	約40	約60	約200	約40	約200
	度会町	-	-	約20	約20	約100	約20	約100
	大紀町	-	-	約200	約40	約200	約200	約200
	南伊勢町	-	約10	約700	約20	約700	約700	約700
(小計)	約800	約200	約3,400	約5,500	約8,500	約2,900	約3,900	
東紀州	尾鷲市	約60	約10	約700	約500	約600	約600	約100
	熊野市	-	-	約200	約200	約600	約200	約400
	紀北町	-	約10	約1,000	約70	約800	約1,000	約700
	御浜町	約70	-	約100	約300	約300	約40	約10
	紀宝町	-	-	約90	約10	約300	約90	約300
	(小計)	約100	約10	約2,100	約1,100	約2,600	約1,900	約1,600
県計	約2,800	約800	約6,200	約22,000	約15,000	約4,900	約5,600	

※災害拠点病院及び災害医療支援病院が機能する場合

※市町間の医療搬送等は考慮していない

※対応可能入院患者数、対応可能外来患者数は、平成24年医療施設(動態)調査、平成24年病院報告、平成22年医師・歯科医師・看護師調査等をもとに設定